

かけはし

令和7年度 富士市立今泉小学校
—学校教育目標— 2月号
「やさしく たくましく」

校長

第3ステージ「感謝の気持ちを伝えよう」

今泉小学校では1年を3期に分け、それぞれで重点的に取り組む内容を設けています。冬休み明けの1月から3月は今年度最終となる第3ステージです。冬休み明けの「新年を迎える会」では、その第3ステージを過ごす心構えとして、次のような話をしました。

今日からいよいよ第3ステージ「感謝の気持ちを伝えよう」が始まります。この第3ステージは、今の学年で学んだことがしっかりできるようになっているか確認し、次の学年に向けて準備をするとても大切なときです。

「感謝の気持ちを伝えよう」については、清掃を中心に取り組みましょう。みなさんは、教室や廊下、トイレや靴箱などの校舎や、机や椅子、ロッカーなどの用具を毎日使って、楽しく学習をしたり遊んだりしてきました。今泉小学校は古くて使いづらいところもありますが、国や地域によっては、みなさんと同じ年の子供が、校舎や机、椅子が無い場所で、それでも一生懸命に勉強しているところもあります。みなさんの活動を支えてくれた場所や物に、感謝の気持ちを込めてきれいにしてください。

また、みなさんと学習や生活を共にした友達や学校の先生方、ボランティアの方々、見守ってくれる地域の方々、家族、といった身近な方々をはじめ、支えてくれた多くの人々にも、感謝の気持ちをもって過ごしてください。そして、何らかの方法でその気持ちを伝えることができるといいです。

もう1つ、みなさんにがんばってほしいことは、「当たり前のことを当たり前やる」ということです。今、昼の放送でみんなが笑顔になる素敵なあらわれを、スマイル放送として伝えています。その中にとときどき「気持ちのよいあいさつをした」とか「自分の係の仕事を黙々と行っている」といった、特別なことでなく、ふだんみなさんが当たり前に行っていることが出てきます。

授業の始まる時間を守って席についている、当番の仕事を忘れずにする、かかとをしっかりと揃えて靴を置く、名前を呼ばれたら返事をする、人から何かされたとき「ありがとう」と言う、などは特別なことではなく当たり前のことですが、それをしっかりとすることで、みんなが気持ちよく学習したり生活したりできます。自分ができているか振り返り、みんな笑顔の今泉小学校で一年を終わり、次の学年に、また、6年生は中学校の生活につなげられるようにがんばってください。

今年で阪神淡路大震災の発生から31年が経ちましたが、その後も大きな地震や津波、竜巻等の自然災害が起きています。また、子供たちが交通事故に遭うニュースもたびたび耳にして胸を痛めます。

帰る家があって、普通にご飯を食べて、温かなお風呂に入って、柔らかく気持ちのよい布団で寝起きができる。好きな音楽を聴いたりテレビを観たり、おもちゃであそんだりできる。普段当たり前だと思っていることも、いざ災害が起きたり事故に遭ったりしたらできなくなってしまうかもしれません。当たり前で生活できていることは、本当はとてもありがたいことだと、感謝の気持ちをもつことが大切です。ご家庭でも機会を見つけて話してみてください。

3月のおもな予定

児童 VS 教員リレー 1/13

子供たちから「先生たちとリレー対決したい。」という声が上がったことから児童会が計画し、各クラスから代表2名を選出して、1～6年生までのたてわりチーム(1組チーム、2組チーム、3組チーム)に教員チームが加わった4チームで昼休みに対抗リレーを行いました。

私たち教員も、手加減しません。「先生たち、大人げない(笑)」という声も聞こえる中、けがに気を付けながらも真剣に走りました。

結果は、教員チームの圧勝!まだまだ子供たちに負けるわけにはいきません。応援の子たちも一緒に、大いに盛り上がったリレーとなりました。

たてわり活動 1/22

1年生から6年生まで所属するたてわりグループをつくり、グループごと、6年生が計画した様々な遊びや活動を行います。異年齢集団での遊びや活動を通して、高学年はリーダーとしての資質を身に付け、中学年や低学年は高学年の様子を見たり、異学年同士で関わったりして、様々なことを学んできました。

22日は6年生が計画する最後の縦割り活動があり、教室や運動場で様々なゲームをして楽しみました。会の最後には、6年生から下級生一人一人に、これからも笑顔いっぱいの中泉小にしてほしいというメッセージとともに、お守りがプレゼントされました。

九九花まる大臣ボランティア

休み時間を活用し、地域の方々にご協力いただき、2年生の九九を聞いていただく活動を行いました。

「頑張っているね。」「よく練習して覚えてきたね。」と声を掛けてもらい、子供たちは自信をもって九九に挑戦していました。できたときは笑顔で「できたよ。」とうれしそうに伝える姿が見られました。

地域の方から励ましの声を掛けていただくことで学習への意欲も高まり、温かい交流の時間となりました。